

学校名 美里町立松久小学校
所在地 美里町駒衣341-2
電 話 0495-76-1355

1 本校の概要

本校は自然環境に恵まれ、児童数は159名。児童は明るく純朴である。全学年が単級で小規模のため、互いによく分かり合っており、学年の枠を超えて大変仲がよい。学区内には町立図書館があり、読書環境は比較的整っている。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・ 読書活動の充実
- ・ 読書環境の整備
- ・ 家庭や地域との連携

(2) 実践の概要

ア 年間を通しての取組

- 年度初めに1年間の読書目標冊数(ページ数)を提示(1・2年…100冊、3年…60冊、4・5・6年生…8000ページ)し、達成者を表彰、顔写真を掲示している。



- 月2回、地域ボランティアによる『読み語り』を行っている。2月には全校児童が感謝の手紙を書き、「ありがとう集会」を実施する。



- 図書委員会では、新しく入った本の背表紙を使って本の紹介ポップをつくり、掲示している。



- 町立図書館からの年2回1カ月の団体貸出しを利用している。

イ 読書チャレンジ月間(10月)の取組

- 「本だいす木」の取組

目標(学級)を決めて、本を読み終わる毎に実カードを貼り重ねている。



- 親子読書

全家庭で親子読書実施と実践カードの提出をし、廊下に掲示をする。

- 図書委員会が児童朝会(リモート)で児童に興味を持ってもらえるようおすすめの本紹介や、本の内容紹介クイズをする。

3 成果と今後の課題

(1) 成果

- ア 低学年は、平均読書数が100冊を超え、ほとんどの児童が年間読書目標を達成できた。
- イ 各学年で目標を決め、積極的に頑張る姿が見られた。親子読書では、親子で取り組むことで児童の意欲が高まり、保護者の方からも「親子で読書をし、良い時間が過ごせた。」「これからも子供と一緒に本を読む機会を増やしたい。」などの感想があり、親子とのふれあいの場にもつながった。

(2) 課題

- ア 読書好きな児童は沢山読むが、全く読まない児童もあり、二極化している。
- イ 図書室は、定期的なクラス全体の利用はあるが、個人の利用が少ない。

(3) 終わりに

児童が読書により親しめるよう、読書環境の工夫をしていきたい。